

丸亀しわく山の会 ヒヤリハット報告

2023.9.10 香川県連 遭難を考える集い

【目的】 当会におけるヒヤリハットの現状・傾向を知る。

・ヒヤリハットの発生削減につとめ、重大事故の防止を図る。

【方法】 調査期間 2023.1.1～2023.8.31

・調査方法 例会にて山行リーダーや本人、参加者から報告を受け、丸亀しわく山の会の様式にて集計

【結果と考察】

・事故分類 アクシデント2件(岩登りと沢登り)、労山基金対象事故は無し。

1. 転倒5件、2. 転・滑・墜落3件、3. 疲労1件、4. 病気(高山病)3件、5. 道迷い3件 7. 熱中症1件、13. 水難(溺れ)1件、16. その他2件

・背景・要因

転倒・滑落が8件あり、昨年と件数では変わらないが躓き・スリップ・転倒が多い。

雪渓での転倒が多かったが、凍っているところは転ぶものとして早めの対応。

岩登り：初心者ビレイの失敗は、重大事故につながるので必ず補助者の配置。

沢登り：溺れ対策として、ライフジャケットやお釜での確保ロープ使用の徹底。

・年齢 70代12人、50代6人、60代4人、40代1人

昨年に続き70代が最多。加齢による体力低下を自覚して過信せず、余裕のある山行計画が必要。新入会員に対して、基本的な山歩きと実践不足と考えられ個別的な新人教育が重要である。

【今後の改善策と取組み】 一課題：高齢者の体力確認と新人教育

・山行計画は、事故防止対策を配慮し立案する。(例：ゆっくり組と健脚組の2層計画)

・新人教育、山さろんや例会で、山での歩き方や転倒予防・バランス保持などの座学や実践山行を実施する。

・メッツ測定を継続し実施する。(メッツを指標に飯野山登山を基準に自分の体力確認)

・山行準備会で地図読みを行い、山行の予習を行う。また、山行中の地図読みを習慣化する。(スタート地点、休憩時、分岐点で現在地・進行方向・地形の確認など)

・山行反省会や例会、会報で、ヒヤリハットの情報共有を継続。